

施策1-1-3 新産業の創出と育成

担当課 商工観光課

施策が実現できたときの状態について、平成25年度での到達状況

【達成した】

- ・産学官連携プロジェクト（情報交換、人的交流、商取引、共同研究）が多岐分野に亘り、より深く展開されている状態です。
- ・行政や企業、大学間の共同研究事業（ニーズとシーズのマッチング研究）により、新技術開発、新市場開拓、働く人づくりといった産業面での滝沢地域における新しい価値づくりが、資金（金融）、行政と連携してなされ、これらを既存企業間または外部企業を交えた連携により経済活動を通して数多く成功させている状態と考えます。
- ・こうしたプロセスを求めたり、得意とするベンチャーや第二創業企業が、数多く集まり創業し、生き残り成長している状態となるよう活動しました。

3ヵ年方針のうち、平成25年度の重点課題の達成（実現）状況

【概ね達成した】

- ・「産学官共同研究事業（市単補助）」の実施により市内企業の基盤強化・連携促進を図りました。
- ・「滝沢市IPUイノベーションパーク」の造成工事が平成23年度末で完了しました。
- ・企業立地促進法の国庫補助事業を導入した貸研究室「滝沢市IPUイノベーションセンター」では、入居企業への情報提供、コーディネートの総合支援・施設管理事務を併行して進め、スムーズな施設運営を行いました。
- ・平成25年には「滝沢市IPU第2イノベーションセンター」が開所しました。

施策目標の達成（実現）に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成（実現）状況

【概ね達成した】

・企業立地促進法の盛岡広域産業集積基本計画の核施設となる貸研究室「滝沢市IPUイノベーションセンター」を使用開始しています。市は、この施設を基盤とした「県大周辺組込ソフトITシステム関連産業集積構想」の実現に向け準備し、首都圏等のベンチャーの中には、高度で最先端型技術を保有しながらも、都市圏の高い家賃を負担しています。県、大学や試験研究機関の情報や独自情報をもとにベンチャー誘致や地元既存企業との連携誘致のため、イノベーションパークの整備を図りました。産学官連携フォーラム、成果発表会、分野別研究会は、岩手大学の岩手ネットワークシステムをはじめ大学、各種試験研究機関、金融機関、任意民間団体が数多く開催しています。市独自開催は、必要性等を十分に勘案して最小限に留め、これら既存の会合を有効活用し、また、市内中小企業の参加と意欲を促す仕組みづくりを商工会とともに行ないました。

施策目標値の達成状況

産業間連携による新事業・新製品の創出数

